

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.805 2021

2021年4月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料63円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号
Tel 03-5367-6640 Fax 03-5367-6641
URL：https://www.ymcajapan.org/
発行人／田口 努 編集人／横山 由利亜



OPINION

雲と風からの透明な力

神奈川県海老名市教育長 伊藤 文康



昨年春のコロナ禍による休校措置が終わった6月、子どもたちが学校に戻ってくる姿が私には大変うれしく、「知恵を絞って子どもたちの教育を絶対に守ろう、それが私たち大人の使命だ」と強く思いました。海老名市の公立小学校13校の5年生約1200名が毎年訪れているYMCA東山荘と富士山での自然体験教室も同様です。子どもたちも保護者もこの教室を心待ちにしていました。

コロナ禍での生活の場を離れて自然の中に入れば子どもたちは安全だという思いがあるものの、安心して宿泊できるように受け入れ施設による周到な安全対策も大切です。子どもたちの大事な成長の機会を守るために、学校とYMCA東山荘が協力して保護者にも丁寧な説明を行い、2020年度も自然体験教室が実現できたことをうれしく思っています。

40数年前、小学校の教員をしていた頃に、宮沢賢治の詩に出会いました。

……雲からも風からも
透明な力が
そのこどもに
うつれ……

宮沢賢治 「あすこの田はねえ」より

机の上での学びも大切ですが、子どもたちは教室を飛び出し、様々な体験をする中で多くのことを学びます。自然と対峙し、泣いたり笑ったりすることで、雲からも風からも「透明な力」が子どもたちに注ぎくだるのです。海老名市からも遠くに見える富士山を眺めながら「ぼくはあの山の森の中を歩いた」「わたしはあのふもとの道を歩いた」と、子どもたちの心の中に自然を感じることができる、これがその力です。

また、自然との関わりと同じように、人との関わりも大切です。例えばボランティア活動を通して、子どもたちは多くの人との関わりを持ち、自分が誰かの役に立っている、誰かに喜んでもらえる、そんな体験をします。子どもたちが主体的にたくさんの人との関わりをつくり、そこから「透明な力」が注がれる、そんな体験をこれからもつくっていききたいと思います。

ミャンマーYMCA

祈りを合わせて

クーデターで政権を掌握した国軍と、それに抗議する市民の間で衝突が激しくなるミャンマー。西北部チン州の州都ハッカにあるハッカYMCA総主事のロニー・ライアン氏が、2月10日、国軍に拘束されました。昨年の総選挙で同市の選挙管理委員会委員長を務めたことが理由とされています。

ライアン氏は、20年以上YMCAで働き、ハッカ市民の信望も厚く、世界キリスト教協議会のミャンマーからの代表です。19日にアジア・太平洋YMCA同盟 (APAY) が開催した祈祷会では「未来を失った」と語るミャンマーの若者たちの声も紹介されました。

世界YMCA同盟のカルロス・サンヴィー総主事は、貧しい人、処分された人、抑圧された人、人種・宗教・民族マイノリティーの味方になったことによって「私たちは牢獄にいる」が、「誰も私たちを止めることができない。なぜなら私たちは神が創造されたものであるから」と宣言しました。

世界YMCAでは、方針の一つに「若者が力や権力によって抑圧されることに抵抗し、彼らの声によって社会を変えられるように共に働く」ことを掲げています。

YMCA ユースチャンネル

2021年2月23日にオンラインで開催した第21回日本YMCA大会。そのイベントとして、2月5日よりYMCAに連なる様々なユースによる活動紹介動画6点を「YMCAユースチャンネル」でご覧いただきました。動画再生回数は合計1,777回(2/23時点)となりました。コロナ禍にあってもオンラインとリアルでのコミュニケーションを駆使しながら、今を生きるユースたち。「YMCAユースチャンネル」で人気のあった2作品を紹介します。

All Japan YMCA movie ユースアクション がんがん

2020年4月、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言により、学校やYMCAで、いろいろなイベントや予定が中止になりました。大学の友人、特に地方出身の一人暮らしをしている学生は、アルバイトもできず経済的にも苦しい状況が続いていました。はじめは私自身も、どうすることもできない無力感を感じていました。

しかし、家で過ごす時間が増え、話題になったYouTube動画などを見てみると、「もしかしたら私にもできることがあるんじゃないか?」と思うようになっていきました。次第にその思いは悔しさとなり、その気持ちをバネに「全国のユースリーダーの仲間とつながってアクションを起こしたい!」と思ったのがきっかけです。

そして、とちぎYMCAのスタッフの協力を得て、リーダーによる実行委員会が立ち上がり、全国のYMCAに参加を呼びかけました。賛同の輪は少しずつ広がり、動画は完成しました。

たくさんのキャンプソングがある中で、「がんがん」を選んだのは、歌詞にある「君に出会い、雲と一緒にみたり、みんなで歌をうたったり、ごはんを食べたり、今まで当たり前だと思っていたことは、本当はすごいことなんだ」という部分が、コロナをきっかけに心に留まり、ストレートに心に響いたからです。多くの方に、この動画を見ていただいて元気な気持ちを取り戻し、少しでも夢や希望を感じていただけたら本当にうれしいと思っています。

とちぎYMCAユースリーダー 古谷 真菜



キャンプソング“がんがん”誕生秘話

がんがん制作者 安田 淳さん

“がんがん”は2003年に生まれました。当時、会社のCSR活動で児童養護施設の子どもたちをキャンプに招待していました。施設で生活する子どもたちや先生方と関わっているうちに、この子どもたちのために曲を作りたいという気持ちがうずうずと湧き上がり、作ったのが“がんがん”です。子どもたちはいずれ施設を出て一人の力で生きていくことになります。楽しいと思えることばかりではないかもしれませんが、それでもその後の人生において、小さな幸せをたくさん感じ、当たり前と思う日常のことが本当はとっても幸せなことなんだと、気づくことができるようになってほしいという願いを歌詞に込めました。そんな思いで作った曲を歌い続けていただいていること、本当にうれしく思っています。

amazon 「みんなで応援」プログラム ご支援ありがとうございます

Amazonによる社会貢献活動の一つである「みんなで応援」プログラム。全国23のYMCAがプログラムで必要となるものを「ほしい物リスト」として(Q Amazon「みんなで応援」プログラム>教育・児童)公開し、プログラムの趣旨にご賛同いただける方々がそのリストから商品をご購入いただくと、応援物資としてYMCAに届く仕組みです。「応援」の気持ちと品々は、子どもたちや留学生たちを笑顔にし、さらにこれまでYMCAを知らなかった、関わりのなかった方からも共感や賛同の声をいただき、YMCAスタッフも力づけられています。

引き続き、Amazon「みんなで応援」プログラムにご協力ください。

日本YMCA同盟にも以下の方々からご支援いただきました。

ありがとうございました。(2020年11月ー2021年2月)

阪口歩、大山道代、吉村万里乃、岩本光江、澤村亜由美、塚田沙知、高尾知明、本田奈緒子、原部祐基、佐藤大助、野村信介、安井千佳子、山形公香、清田誠子、富田夏央、鵜殿奈於、雲井るみ、渡辺修一、林知果、今田美奈、野崎由衣、高橋健、内藤好太郎、吉野智子、吉田百合子、廣瀬育成、高橋剛、中村淳也、石井隆也(順不同・敬称略)

Amazon
「みんなで応援」プログラム
全国23YMCA
紹介ページはこちら



バーチャルYMCAでできること

「あつまれどうぶつの森」(通称:あつ森)は、無人島でスローライフを送りながら、自分好みに島を開発していくゲームです。インターネットに接続し、ほかの島を訪ねメッセージを残したり、リアルタイムにその島の住民とチャットで会話することもできます。2020年春の緊急事態宣言下、巣ごもりを余儀なくされた人々がこのゲームの中で訪問しあい、見知らぬ人とコミュニケーションをとるなど、コロナ禍で閉塞した現実世界の代理的存在として注目されました。



YMCA島の夢番地: DA-9790-6075-7990

オンラインでの会議や集会が日常的になり、物理的にはなれていてもつながっていることが可能であることに実感を持てるようになった頃、このあつ森の世界でつながりを求める人たちが集まる新しいコミュニティに未来のYMCAがあるかもと、あつ森YMCAという実験がはじまりました。バーチャルな世界でYMCAらしさを再現するにはどうすればよいか。まずは「見た目」をと、ブランドロゴやピンクシャツデー、キャンプ100などのグッズを制作しイベント会場にはYMCAのチラシを置きました。バスケットコートを設置し、自然に囲まれた海や山にはキャンプ場も開設するなど、みなさんがYMCAで経験してきたことをYMCA島に再現してみました。

さて、あつ森YMCAはここからです。時間にも空間にも左右されず、既存の活動・事業からも自由である特性を活かしたYMCAづくりです。バーチャル空間に集う人々にはどんなニーズがあって、何が受け入れられるのか。明治時代、大海原を越えて来日しYMCAの設立に汗を流した宣教師の気分になって、みなさんもぜひ一度YMCA島を訪れてみてください。

YMCA島 Young Manさん

日本YMCA同盟YouTubeチャンネルでは、YMCAユースチャンネル、第21回日本YMCA大会の動画をご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCKu0L0zOathPvPjSoJlJngvg/videos>



2020年4月から1年間、日本YMCA同盟インターンとして、ユース平和委員会の活動、日中韓YMCA平和フォーラム、世界YMCAのイベントなど様々な体験をさせていただきました。幼少期の頃から地元にある広島YMCAに通い、高校生の時にユースピースセミナーに参加してからは、世界で活躍する大人になりたいという夢を漠然と抱くようになりました。私にとってはYMCAは夢を持つきっかけとなった場所であり、夢への一歩を経験させてもらった場所でもあります。



YMCAに関わることで生まれるつながりは一生もの。そのことを実感したため、次は私がYMCAとのつながりを広める立場になりたいと思っています。大学生活最後の1年は、YMCAイベントの参加やユース平和委員の活動を、ボランティアとして微力ながらお手伝いしていきたいです。

最後になりますが、これまでお世話になったYMCAの皆様、学びの機会を提供してくださり本当にありがとうございました。インターン経験を自慢できるような、立派な社会人になりたいと思います。

日本YMCA同盟インターン 高田 望